

## 令和6年度第1回教育課程編成委員会 議事録

【日時】令和6年7月12日（金）10：00～10：45

【場所】こころ医療福祉専門学校壱岐校

【委員】壱岐市社会福祉協議会 会長 末永 榮幸 様

【委員】壱岐市立老人ホーム 所長 白川 昇吾 様

【委員】特別養護老人ホームハッピーヒルズ施設長 永田 信弘 様

こころ医療福祉専門学校壱岐校 校長 後藤 久志

こころ医療福祉専門学校壱岐校教育部 野田比呂恵

【事務局】こころ医療福祉専門学校壱岐校学生部 竹尾 真理

### 議 題

- (1) 教育方針等について
- (2) 令和6年度重点目標
- (3) 介護福祉科の教育方針
- (4) 令和5年度経過報告と令和6年度行事予定
- (5) 教育課程編成について
- (6) 在籍学生数
- (7) 所属職員

### 内 容

- (1) 教育方針等について

配付資料に基づき、こころ医療福祉専門学校壱岐校教育理念について確認。

(校長) 地域の医療・福祉を包括的に支援する組織づくりの具現化のために、グループの教育機関の役割として、本校卒業後にそれぞれの就職現場で即戦力として働ける介護人材を送り出せるように指導を行っています。特に日本人学生は地元の施設に就職しますので、壱岐市における介護人材の確保に貢献できるよという思いで人材の育成に努めています。今までに6期生までの97名を送り出し、壱岐市内はもとより多くの卒業生を介護施設に輩出することができています。卒業生たちは、就職した施設で活躍しています。そうした地道な努力の積み重ねによって、徐々に本校に対する市民の評価が高まってきているように実感しています。しかし、中学校や高校の年々減り続ける生徒数に憂慮しています。また、介護職を目指す者が少なくなっていることも強く感じます。将来的に介護職の人材不足については社会的にも問題になっていますので、介護職を目指そうと思っている者には、是非本校でしっかり学び、壱岐市内の介護人材確保の一助になるように啓蒙していきたいと思ひます。

(委員) 介護人材確保連絡協議会の方針が当初と方針が変わってしまっている。代表が変わり、介護人材確保だけではなく目的が多岐になっているように思ふ。そのために、方針が定まっていなように感じる。

(校長) 学生にとって、施設実習や学校内での学習など体験的な情報は、非常に頭にも入りやすいように思います。入学当初の夢を実現させるために、学んだ知識や技能を十分現場で発揮できるよう育成していきたいと思います。現在学生が多く、外国人留学生28名、日本人学生13名、計41名の学生が在籍しています。(1年生:日5名、留7名 2年生:日8名、留21名)学校内に併設する寮は現在満室になっています。日本人学生の中には、一度島外へ出て行った者が数名おります。一度島外へ出て地元のありがたみを再認識するのも一つの経験かもしれませんがリスクは高いです。帰ってきて勉強している学生は、戻ってきて良かったと言っている者が多いです。また、長年社会人を経験し壱岐へ戻ってきたある学生は、親の面倒を見る傍ら、介護の仕事を目指したいと頑張っております。

(委員) 実習に来た学生のみではなく指導する指導員もしっかりとした指導目標を持って実習にも取り組むように努力をしている。学校と施設の連携はとても大切だと感じている。

## (2) 令和5年度重点目標

(校長) 分かりやすい授業を行いうことが教師の使命です。国家試験においては日本人学生全員合格だけでなく多くの留学生の合格を目指します。留学生も意欲的に取り組んでいます。本校の卒業生は、2年間介護の勉強を行っており、施設でも重宝されています。学生募集に関しては、日本人10名、外国人15名を目標にしています。しかしながら、年々市内の高校生は減少しています。また、介護職に就きたいという学生も減っています。今後は留学生が多くなると思います。実習先やアルバイト先の確保、送迎が今後の課題になると思います。コロナウイルス感染症については、徹底した予防対策を行っておりますが、近頃は無症状の感染者も多いようなので、予防に苦慮しています。一人が罹れば、寮が4人部屋なので隔離等かなり神経を使います。

(委員) 国家試験に関しては、施設で働いている卒業生で現役中に合格できなかったものも国家試験合格していて、喜んでいる。できれば全員が卒業時に合格して就職できるようにできるように、勉強を頑張っていってほしい。感染症については、大変ではあるが、職場の関係上これから先もあらゆる予防対策を行った上で業務に当たらなければならない。

## (3) 介護福祉科の教育方針

(教育部) 「倫理観」や介護福祉士に求められる「こころ」をしっかり育てることを前面に出しています。社会的には色々な分野でAIの活用が進んでいますが、どうしても人間にしかできないところがあると思いますし、介護職は特にそういった面が多いのではないかと思います。

(4) 令和5年度経過報告と令和6年度行事予定

(校長) 近年新型コロナウイルス感染症の影響で入学式や卒業式について来賓を呼ばず学生と保護者を中心に行ってきましたが、やっと来賓ご臨席のもとに卒業式を行うことができました。会場も従来のはつばさに移して行うことができ、学生達も喜んでいました。宣伝活動としまして、オープンキャンパスや情報発信としてのホームページ、ブログの更新を充実させ、ケーブルテレビへの「うらふれ体操」の収録など地域交流も行っております。また、8月2日にはレポーターが体験入学した様子や取材の様子が放映されます。7月3日からは2年生の第3段階の施設実習も始まっております。

(委員) コロナによる制限がかなり緩和されてきましたので、学校に来てもらう機会も多くなってくると思う。

(5) 教育課程について

(教育部) 令和3年度から「人間関係とコミュニケーション」のカリキュラム変更が行われ、30時間から60時間へ変更されております。国家試験については、昨年度より試験科目の順番が変更になっています。学生には模擬試験で対応したいと思います。また、昨年度より多くの留学生が学んでいますので、日本で生活するためのルールや社会人としてのマナーがしっかり身に付くように指導を行っています。

(委員) 国家試験に役立てばと思い、実習中に脳血管患者様の介助を実際に行った。実際に行くことで国家試験に役立ててほしい。卒業生の事を職員も理解し、ミーティングの際は書類にふりがなを記載するなど配慮もしている。介助等在学中に行った実習のおかげでスムーズに業務が行えている。留学生については職員との意思疎通がなかなか難しい面もあるが、双方が理解できるように話し合いを行っている。コミュニケーションに関しても、学校での勉強が現場で活かされていると感じる。

(6) 在籍学生数

(校長) 今年度は12名の学生が入学しておりますが、日本語能力は今までの中では一番高いのではないかと思います。昨年度の入学生は30名おりましたが、留学生1名に進路変更がっております。もともと飲食関係で働くことが希望だったらしく4月からはハウステンボス内の店舗で働いていると聞いています。現在2年生は日本人学生8名、留学生21名の計29名、1年生は日本人学生5名、留学生7名の計12名全体で41名の学生が在籍しています。私たちは壱岐に来ての2年間はしっかり勉強に集中できるように学習は勿論、あらゆる指導を行っています。

(7) 所属職員

(校長) 年度当初と職員構成が変わりまして、現在表に示したようになっています。新型コロナウイルス感染症の分類変更により、授業形態もリモートから対面へと戻しましたが、点字については、島内での講師の確保が難しく、今年度も福岡からリモート授業をお願いしております。

(委員) 会議もそうですが、対面での授業は理解度も高くなると思う。

(8) その他

(校長) 留学生については、長期日本での生活を希望している者が多数です。日本で生活する上での基本的な習慣や常識を徹底して指導しています。母国の生活とは異なることやギャップも多々あるようです。日本で生活する以上は、日本のルールに従って欲しいと思っていますので、その都度指導を行っているところです。同じ国の出身者が多いために、母国語中心の会話で生活するために、なかなか日本語が上達しない環境にあります。しかし、今年の1年生の日本語能力は例年になく高いです。日本語を普段の生活の中でできるだけ使うように指導をしています。また、学生やアルバイト先の日本人と積極的に会話することを進めています。実習やアルバイトにおいて、気づきがありましたら積極的に指導して欲しいと思っています。留学生は節約のために小さな畑で作物を種や苗から自分達で作っており、自給自足をしている学生もおり、見習うべきところもたくさんあります。

(学科長) 実習の時間は長く、座学と現場ではそれぞれ違いがあります。校内で毎回毎回指導は難しいので、これだけは指導していきましょうというような気づきがありましたら、ご指導いただきたいと思えます。

(委員) 専門的な知識をしっかりと学習して施設に就職してくることは大きなメリットとなっている。介護の仕事も移り変わりが年々早くなっている。若い者がしっかりと勉強してくれるのはどの施設にとっても大変ありがたいことである。専門学校卒業生には、年々難しくなっているが5年後にはケアマネジャーの資格を取ってもらいたい。今後も新しいことに対する対応がスピーディーにできるように、学校と施設が共に連携を密にして、壱岐市の介護職の確保とスキルアップが図れるようにお互いに協力できればと考えている。

(事務局) 本日いただきました貴重な意見は今後の教育課程の編成や壱岐校の学校運営に活かして、壱岐市の介護職員確保に繋がるようさらに努力してまいります。以上をもって令和5年度第1回教育課程編成委員会を終了いたします。